

# 平成28年度事業計画

平成28年4月1日から  
平成29年3月31日まで

公益財団法人豊田市国際交流協会

## 平成28年度事業計画

公益財団法人豊田市国際交流協会（Toyota International Association: T I A）は、昭和63年10月の設立以来「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生を三本柱とし、地域の国際化を推進しています。

平成27年度は、在住外国人ニーズへの対応として、子ども達を対象に中国語とポルトガル語の「母語保持教室」を継続するとともに、デトロイト姉妹都市提携55周年の式典協力や交換留学生の受入れを実施しました。また、「国際の日」や「ナショナルデー」で参加型の機会を設け市民相互の交流につながる活動を行いました。

平成28年度は、豊田市のさらなる国際化に向け、2019年ラグビーワールドカップに向けた「外国人おもてなし推進会議（仮称）」を開催し、外国人向け交流ツアーを実施するとともに、多言語ボランティアの養成を行います。

また、将来の国際化を担う子ども達を対象に「こども国際クラブ」を開設し、海外出身の講師から直接、世界の文化や言語などを学び、国際感覚を養うとともに、海外から帰国し修得した英語の保持を希望する小学生を対象に「英語保持教室」を立ち上げてまいります。

尚、当協会の活動を支えてくださるボランティアの方々、並びにより多くの賛助会員の皆様のご理解とご支援をいただけるよう引き続き努めてまいります。

### 公益目的事業

#### 1 地域と諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業【国際交流】

##### （1）国際親善使節の受入れ（自主事業）

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深める。下記以外の団体から申入れがあれば随時検討の上、受け入れる。

##### ア ウェイン州立大学

米国デトロイト市の大学で日本語を学ぶ学生が豊田市内でホームステイをしながら、市内の工場見学・学校視察・観光などを行う。

時 期 平成28年6月下旬～7月上旬（予定）

受入人数 5人程度

##### イ その他受入れ

##### （2）ナショナルデーの開催（受託事業＋自主事業）

とよたグローバルスクエアにて、世界各国の文化や生活を紹介する機会を月1回程度、日曜日の午後に開催。在住外国人や海外経験が豊富な日本人にボランティア活動の場を提供し、市民主体の国際交流の継承と発展に寄与する。

(3) 「国際の日」事業の開催（受託事業＋自主事業）

T I Aが設立された10月1日を「国際の日」として、市民一人ひとりが豊田市の一員であると同時に国際社会の一員であることを意識し、行動することができるように、T I Aのボランティアグループ・豊田市・豊田市教育委員会とともに、下記の事業を行う。

時 期	平成28年10月1日（土）の前後1週間程度
場 所	とよたグローバルスクエア他
内 容	多文化紹介のステージ・ボランティアグループ主催による各種ブース・大人も子どもも楽しめる体験コーナーなどの交流イベント・フレンドリー給食・啓発グッズ配布・国際交流活動紹介パネル展などを予定

(4) 地域の国際交流に関するイベントなどへの協力・支援事業（受託事業＋自主事業）

諸外国との相互理解と友好親善を深める各種交流事業を類似の団体とともに開催し、交流事業の多様化を図る。随時、内容検討の上実施する。

ア 2019RWCに向けた外国人おもてなし推進事業（仮称・新規）

2019年のラグビーワールドカップを契機として、在住外国人を含む市民が主体となり、来訪する外国人をあたたく迎え入れる体制づくりと人材育成事業の実施により、都市の国際化推進を目指して下記の事業を展開する。

時 期	平成28年4月1日～平成29年3月31日
場 所	とよたグローバルスクエア他
内 容	外国人おもてなし推進会議の開催・多言語ガイドボランティアの育成・外国人向け交流ツアーの実施・市内イベント時におけるPR活動などを予定

**【国際協力】**

(5) 国際協力機構（JICA）ボランティア説明会開催事業（自主事業）

JICAと連携し、海外ボランティアに興味を持つ市民への情報提供の場とする。シニアや日系ボランティアについても対応する。

時 期	平成28年10月（予定）
-----	--------------

**2 地域の国際化を推進するための人材の育成と地域の市民活動などの支援に関する事業**

**【人材育成】**

(1) ボランティア登録・育成・紹介事業（自主事業）

国際交流、国際理解教育、多文化共生の分野で活動したいと考えている人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開する。また、登録者及び一般市民のボランティア活動に対する意識向上を図る事業を開催する。

ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

個人又はグループボランティアとして年度毎に登録・更新。新たに登録を希望する人には個々のボランティア活動を紹介し、人材の育成を図る。

・個人ボランティア

通訳・翻訳ボランティア

子ども英語交流補助ボランティア

にほんごひろばボランティア

文化紹介ボランティア

機関誌取材・編集ボランティア

写真・映像撮影ボランティア

イラスト・デザインボランティア

イベントボランティア

ホームステイ・ビジットボランティア

・グループボランティア

英 語

E - I F F

英語ボランティア G L O B E

国際交流

オープンハート

日本文化紹介グループ

多文化共生

A l p h a 日本語教室

日本語サロン

希望の光

トルシーダ

国際協力

ほづみ会

(2) ボランティア意見交換会の開催（自主事業）

T I A の事業やボランティアグループの活動の情報共有、課題解決に向けて意見交換会を開催する。T I A の諸事業への参加・参画をグループのメンバーに促すとともに、ボランティア活動の環境整備に努める。

(3) 子ども英語交流補助ボランティア（自主事業）

豊田市教育委員会と協力して、小学校で行われている英語学習の補助をするボランティアを募り、各学校へ派遣する。

時 期 平成28年5月～随時

対 象 18歳以上で、子どもに英語でのコミュニケーションや発音指導の補助をしてくれる市民

(4) 国際理解教育セミナー（受託事業）

平成28年度は、8月にリオ・デ・ジャネイロにおいてオリンピックが開催されることから、豊田市に多くの出身者がいるブラジル文化への理解を深め、市内在住のブラジル人市民と日本人市民の相互交流につながる機会とすることを狙いとした、参加体験型のセミナーを中心に行う。

さらに、新規事業として、将来の豊田市の国際化を担う子どもの国際感覚を育む

ことを目的に、異なる文化的な背景を持つ多様な人々に対して共感できる気持ちを育むことを主眼とした「こども国際クラブ」を通年開催する。

ア ブラジルにフォーカス！セミナー（仮称）他  
開催頻度 年3回程度

イ こども国際クラブ（新規）

時 期 平成28年4月1日～平成29年3月31日  
場 所 とよたグローバルスクエア他  
対 象 小学校4年生～6年生 30人  
内 容 年間20回程度の活動として、海外出身の講師から世界の文化や言語などを学ぶ

（5）外国語講座（受託事業）

ア 外国語講座

市内外国人登録者数が比較的多い国や地域、あるいは、市民からのニーズが多くみられるところの言語を学ぶことにより、ことばだけではなく、文化への理解を図ることを目的とする。

時 期 平成28年4月以降予定

イ 母語保持教室

中国語及びポルトガル語の保持を希望する子どもを対象に、中国語・ポルトガル語教室を開催する。

時 期 平成28年4月～平成29年3月予定

ウ 英語保持教室（新規）

海外から帰国した英語の保持を希望する小学生を対象に、英語保持活動を行う教室を開催する。

時 期 平成28年4月～平成29年3月予定

（6）小学生国際理解教育学校招待プログラム（受託事業）

市内の小学生を対象に国際理解教育を実施する。国際理解教育を学んでいる大学生を中心とした市民グループが講師を担う。各小学校からの申込みを受け、グループとスケジュールを調整し実施する。

対 象 市内小学校の児童

会 場 とよたグローバルスクエア、または各小学校

## 【市民活動支援】

（7）草の根の国際交流の推進（自主事業）

市民団体やボランティア団体などが実施する国際交流・国際協力・多文化共生な

どの分野の事業に関する情報や意見の交換の場とする。さらに、10月に開催される国際の日の一連のイベントやパネル展示への参加を呼び掛け、市内で活動する国際関連の団体を市民に広く周知できる機会の提供に努める。

内 容 とよた国際交流市民会議の開催など  
時 期 平成28年7月予定

(8) とよたグローバルスクエア運営事業（自主事業）

地域の国際交流の拠点として、国際交流や海外に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地などに関する情報の提供、各種相談への対応をする。さらに、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場としても、とよたグローバルスクエアを運営する。

ア ライブラリー、雑誌コーナーの運営

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために、必要とする図書、雑誌、資料、DVDなどを収集・提供する。

イ 無線LANの設置

無線LANの設置やインターネットによる情報提供を行い、グローバルスクエアを訪れる多くの外国人や市民への情報提供サービスの向上を図る。

ウ 掲示板など情報コーナーの充実

掲示板など情報コーナーを充実させ、日本人と外国人との交流を深めるきっかけとする。また、多言語の情報・国際理解のイベントなどの案内を収集・提供する。

### 3 外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

#### 【多文化共生】

(1) 日本語講座（受託事業）

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助となるよう、とよた日本語学習支援システムのカリキュラムを導入した入門～初中級レベルの日本語教室を開催する。TIA全体としての日本語支援のあり方を見直すことで、日本語学習機会の拡充を目指す。

また、豊田市内で開催されている日本語教室との連携を図り、市全体としての日本語支援の底上げを目指す。

時 期 1期：平成28年5月～9月  
2期：平成28年10月～平成29年3月  
毎週火・木・金・土曜日に開催

ク ラ ス 入門～初級レベルの5クラス 各クラス20人程度

(2) 多言語相談事業（受託事業+自主事業）

ア 各種団体と連携しながら、外国人住民が抱える様々な分野の相談に乗り、多文化共生のまちづくりを推進する。英語、ポルトガル語及び中国語での相談窓口を開設・運営する。

イ 自主事業として、海外から帰国した、あるいは海外へ出国する児童生徒とその保護者を対象とした、相談窓口の開設・運営をする。

(3) 通訳派遣事業（受託事業）

外国人住民が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに通訳補助が必要な場合に、豊田市役所の管轄部署を通じて、通訳者を派遣する。企業やホテルなど民間団体からの依頼に対しては、緊急のケースに限り有料で派遣することもある。

(4) 翻訳事業（受託事業+自主事業）

市役所各部署からの翻訳依頼に対応する。また、市役所などの公的機関に提出する文書など公的書類に限り、市民から依頼の翻訳を有料で行う。

(5) 豊田市外国人災害サポートボランティア養成講座（受託事業）

災害時における通訳・翻訳ボランティアの確保を図り、多言語話者の登録の更なる増加につなげる。また、災害時に想定される環境で講座を実施することで実践力の強化を目指す。

時 期 平成28年10月以降で他機関と協働して講座を実施できる機会に合わせる（予定）

対 象 日本語及び外国語でコミュニケーションができる市民

(6) とよた日本語学習支援システム支援事業（受託事業）

「とよた日本語学習支援システム」（豊田市から名古屋大学への委託事業）所属のシステムコーディネーターへの活動場所を提供するとともに、豊田市と協力しながら、外国人住民に対する日本語学習を支援する。

(7) 外国人こども教育支援事業（受託事業）

外国にルーツを持つ、学習支援の場を求める子どもたちの通うNPO法人や小学校の放課後学習支援クラスに対し、ポルトガル語の通訳・翻訳スタッフを雇用し派遣することにより、子どもたちの教育環境の改善に努める。また、派遣を通して派遣先諸団体とTIAの連携を図る。

## 4 国際交流・国際協力、多文化共生を推進するための情報を提供する事業

### 【情報提供】

#### (1) T I A機関誌発行事業（自主事業）

国際交流・国際理解教育・多文化共生に関する情報とT I Aの事業案内などを機関誌として発行し、国際交流の推進とT I Aに対する協力支援を得るため、県・市町村国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A賛助会員、関係者、ボランティア及び一般市民に配布する。

また、平成27年度から新たに発行した子どもを対象とした「グローバルキッズインフォ」を、平成28年度も国際の日に合わせて発行し、市内小学校で配布する。

発行回数	年5回（うち1回はグローバルキッズインフォ）
発行部数	3,000部/回
	30,000部/回（グローバルキッズインフォ）

#### (2) 広報とよた「外国人のための情報コーナー」（自主事業）

豊田市の広報紙に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載する。

発行回数	24回（毎号掲載）
発行部数	約160,000部/回

#### (3) T I Aホームページの運営（自主事業）

多言語による情報提供について、外国語に堪能な相談員を活用し、提供できる情報の量と質の拡充を図る。また、ソーシャルネットワーキングサービスを有効に活用し、市民への情報提供を強化する。

## 管理部門

協会の財政基盤を支える柱の一つであり、また、協力者・支援者との接点でもある賛助会員制度の強化を目指す。2019年のラグビーワールドカップを契機に、より多くの人に協会を認知してもらい、地域の国際化推進に携われるよう、更なる会員の確保を目指す。

効果的なPR方法の検討や会員との積極的な情報交換の機会を設けるなど、賛助を受けるだけでなく、事業への理解や参加を促すなど、顔が見え、相互協力ができるような関係への発展に取り組む。